

平成 29 年度公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館事業計画書

基本方針

当財団は、多様化する県民の文化に対する要求に応えるため童謡・唱歌やおもちゃを通じた各種文化事業を行い、もって童謡・唱歌やおもちゃをテーマとした特色ある地域文化の振興に資することを目的に、鳥取県と鳥取市の出捐により平成 6 年に発足しました。平成 7 年 7 月 7 日に鳥取県立童謡館、鳥取世界おもちゃ館（両館を合わせた愛称を「わらべ館」という。）が開館してからは、以来 20 余年に亘って県市より施設の管理運営を任せられ、両館を拠点に童謡・唱歌とおもちゃをテーマとした各種事業を実施し、使命の実現を図って参りました。

財団運営の基本的な考え方としては、公平公正を旨とし、利用者にとって広く受益機会の開かれた“うた”と“おもちゃ”の文化事業を提供します。わらべ館の運営に際しては館のキャッチフレーズである「すべての子どもたちと子どもの心を忘れないすべての大人たちのために」を常に念頭に置き、以下の 3 点を運営の柱として、県民や来館者に愛され親しまれる施設となるよう努力します。童謡・唱歌とおもちゃをテーマとした各種文化事業の実施により、わらべ館の利用者を増やすことを通して、財団の目的である童謡とおもちゃをテーマとした特色ある地域文化の発展に力を尽くします。

- ・「童謡・唱歌とおもちゃ」をテーマとしたミュージアム
- ・国の内外に誇りうる鳥取の重要な文化・観光施設
- ・子どもから高齢者までの重要な生涯学習施設

実施事業（総事業費 173,331 千円）

財団の目的を達成するため、指定管理者としてわらべ館の管理運営を行うとともに、次の事業を実施します。

1. 童謡唱歌に関する事業（公益目的事業 1 事業費 82,660 千円）

（1）童謡唱歌体験事業

童謡唱歌に親しむ機会を提供するため、実際に童謡唱歌を歌ったり聴いたりすることの出来る体験活動を実施します。童謡館で定期、臨時の唱歌教室を開催するほか、希望する団体や施設を募り、現地に出向いてのコンサートを実施するなどして、童謡唱歌の普及と愛好者人口の拡大に努めます。家庭でも唱歌にも親しんでいただくことを目的として、オリジナルの唱歌集（一冊 200 円）の販売を行います。また、本年度は県立童謡館の基金事業として、合唱団交流事業と題して県内の合唱団が一堂に会するコンサートを実施し、各団の活動紹介の場をつくとともに、歌を通じた相互交流を図ります。

（2）調査研究、資料収集事業

「童謡・唱歌のふるさと鳥取」としての情報発信を行うため、日本の音楽教育の発展に大

きな役割を果たした三人の音楽家、岡野貞一・田村虎蔵・永井幸次をはじめ本県ゆかりの音楽家に関する資料や、童謡唱歌全般に係る資料を収集するとともに調査研究を行います。

(3) 展示事業

岡野貞一ら鳥取県出身の音楽家の業績を顕彰するとともに、童謡唱歌に対する興味関心を広く一般に持ってもらうため、童謡館において常設展やテーマを定めた企画展を開催します。展示には調査研究、資料収集事業の成果を反映し、低廉な料金で広く一般に公開します。

2. おもちゃに関する事業 (公益目的事業2 事業費81,641千円)

(1) おもちゃ文化体験事業

おもちゃに親しみ、おもちゃ文化に触れる機会を提供するため、工作や遊びなどの体験型事業を実施します。鳥取世界おもちゃ館を拠点として、おもちゃを使った工作や遊びなどの体験活動を提供するほか、壊れたおもちゃの修理など様々なアプローチにより、楽しみながら学べる場の実現を目指します。おもちゃづくり体験で使用するキットの販売や材料代等の徴収に際しては、低廉な料金に設定し、多くの方が参加しやすい環境となるよう努めます。また、受付にて逆立ちこまを1セット300円で販売します。

(2) 調査研究、資料収集事業

鳥取世界おもちゃ館の展示の充実を図るため、鳥取県の郷土玩具や資料的価値のあるおもちゃを収集するとともに、調査研究を行います。近隣のおもちゃ作家とも連携しながら、地域性のあるおもちゃの収集にも力を入れます。

(3) 展示事業

「'89鳥取・世界おもちゃ博覧会」を顕彰するとともに、当時の収集資料を活用するため財団が新たに収集した資料も加えながら、鳥取世界おもちゃ館において常設展やテーマを定めた企画展を開催します。展示には調査研究、資料収集事業の成果を反映し、低廉な料金で広く一般に公開します。

3. 法人管理事業 (管理事業 事業費9,030千円)

(1) 財団管理事業

関係諸法令に則り公益法人として適切な法人運営を行うとともに、人材育成に力を入れ職員の知識、技術の向上を図ります。